

## 四万十川に魚のゆりかごをつくろう

～子供達とコアマモを移植し、豊かな生態系の復元を目指します～

国土交通省中村河川国道事務所は、平成29年6月26日（月）、自然再生事業（別紙①）の一環として試験的に整備した四万十市実崎の『ワンド』（別紙②）に、地元の四万十市立八束小学校の子供達とコアマモの移植を行います。

移植作業は、四万十川で多くのコアマモが確認されている場所から、現在の生育環境を改変しないよう人力で採取し、試験的に整備した『ワンド』内に田植えの要領で行う予定です。



中村河川国道事務所では魚の仔稚魚（赤ちゃん）やその餌となる生物のすみ処となるコアマモ等の生育場を再生する事業を『魚のゆりかごづくり』と名付けています。

1. 日 時 平成29年6月26日（月）13時～15時（予定）  
小雨決行
2. 場 所 四万十川右岸 実崎地区 高水敷（別紙位置図参照）
3. 参加者 八束小学校 5年生・6年生の皆さん  
四万十川自然再生協議会 外
4. 内 容 『ワンド』内へのコアマモの移植体験  
『ワンド』で見られる水生生物の観察

平成29年 6月20日  
国土交通省四国地方整備局 中村河川国道事務所

### 問 い 合 わ せ 先

国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所  
電話(0880)34-7301

副所長 香川 正好 内線(204)  
◎計画課長 黒田 稔生 内線(261)

◎主な問い合わせ先

## 別紙（位置図）

○国道56号の足摺分岐から国道321号を南へ走行



○国道321号山路橋手前で四万十川の堤防に入り、四万十大橋が上空を横断する手前の坂路で四万十川の高水敷へ降りて下さい。

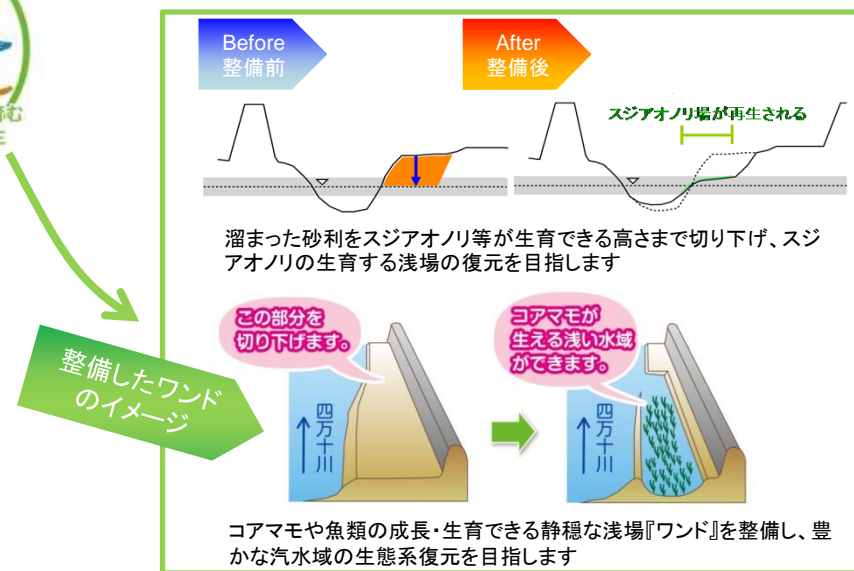
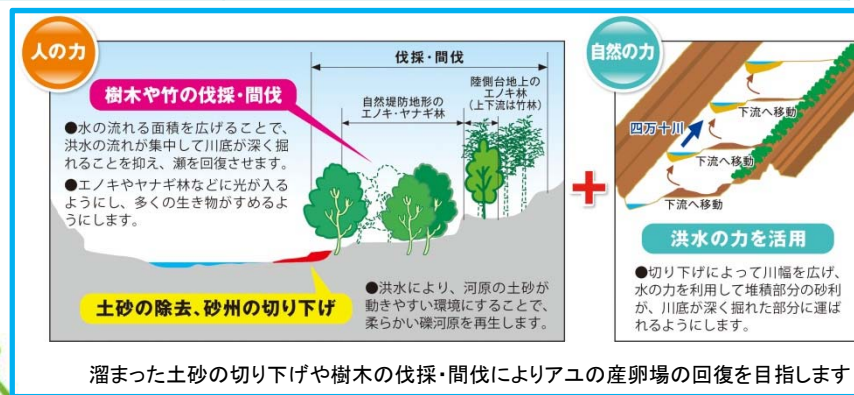


国土地理院（電子国土WEB）をもとに作成

# 別紙① 四万十川自然再生事業の概要

四万十川自然再生事業は、失われつつある四万十川でかつて見られた白い礫河原と広い水面、冬にはツル類の越冬が見られる良好な自然環境の復元を目指すもので、3つの事業を柱に平成14年度より事業を行っています。

①アユの瀬づくり事業	アユの産卵場となる瀬が広がる昔ながらの河原の風景の再生	四万十川入田地区
②ツルの里づくり	ツルたちが安心して越冬できる里づくり	中筋川流域
③魚のゆりかごづくり	四万十川の生き物を育む汽水域の浅場の再生	四万十川河口から坂本地区付近



## 別紙② 実崎箇所を整備したワンドの概要

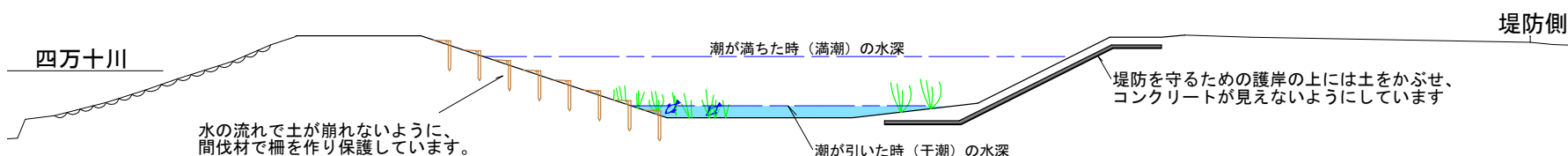
『ワンド』とは、川の本流と繋がっているが、構造物などに囲まれた池のような地形で、様々な植生が繁茂し、魚類など水生生物の安定した住み処となる静穏な浅場のことです。中村河川国道事務所では、この『ワンド』整備をはじめとする、魚の仔稚魚等の住み処となるコアマモや、スジアオノリが生育できる浅場環境を再生する事業を『魚のゆりかごづくり』と名付けています。

今回試験的に整備した『ワンド』は、過去に四万十川の汽水域で多く見られたコアマモ群落を再生し、魚やテナガエビなどの多様な水生生物が生息する豊かな汽水域の復元を目指して、四万十川におけるコアマモの生育確認高さを目安に河川敷を掘り下げ、平成29年6月に完成しました。

今後は、『ワンド』内のコアマモの生育状況や水生生物の生息状況を確認しつつ、汽水域の豊かな生態系の再生に向けた事業を実施していく予定です。



### ワンドの構造【①-①断面】



### ワンドの構造【四万十川と接している箇所】

